

文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第64回）議事概要

開催日及び場所	令和5年12月20日（水） 文部科学省会計課会議室及びリモートオンライン会議	
出席委員 (敬称略)	<p>○委員長 有川 博（日本大学客員教授）</p> <p>○委員 大谷 益世（公認会計士） 楠 茂樹（上智大学教授） 清水 光（弁護士） 松浦 亨（北海道大学病院客員診療教授）</p>	
審議対象期間	第2四半期（令和5年7月1日～9月30日）	
個別審査案件	8件	<p>○議事</p> <p>(1) 令和5年度第2四半期の物品・役務等契約に係る審査</p> <p>(2) 個別審査案件</p> <p>(3) その他</p>
一般競争入札方式	3件	
最低価格方式	1件	
最高価格方式	0件	
総合評価方式	2件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	5件	
企画競争	4件	
公募	0件	
競争性のない随意契約	0件	
不落随意契約	1件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	審議の過程で検討や見直しをしていただきたいと申し上げた点につきましては適切に対応していただくこととし、全体としては問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>個別審査案件について（以下、審査順）</p> <p>① 「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業」</p> <p style="text-align: center;">【随意契約（企画競争方式）】 （大臣官房文教施設企画・防災部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業でつくられたモデルに基づいて実現されたケースについて把握されているのであれば良いが、モデルが反映されているかどうかは定かではないという状態では、事業を行う意味が曖昧になってしまうため、何らかの目指すべき指標を定めるべきではないか。 ・契約金額の半分以上が再委託先に支払われており、委託先が事業を主体的に実施できているか、など事業の構造に問題があるようにも思料されるが、その点をどのように考えているか。 ・今年度で事業を終了するということであるため、当該事業についてどのような成果が上がり、今後の行政にどう役立てるデータ・情報が得られたか、をしっかりと整理・検証いただきたい。 <p>② 「在外日本人児童生徒用教科書（令和5年度後期用）の梱包・輸送等業務一式」</p> <p style="text-align: center;">【一般競争入札（最低価格落札方式）】 （総合教育政策局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考見積では高額で見積っている一方、入札金額はかなり低くなっているが、業者における参考見積の作成方法については承知しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から事業を始めたところで、今すぐ形になっているケースを把握することは難しいが、当該事業が目指しているところは理解が進んでいくと考えており、成果物をしっかり横展開していくこととしたい。 ・当該事業は地方自治体が契約相手方になることが多く、人件費は事業費に計上されないため、構造的に再委託の割合が増えてしまう。なお、経費の部分は精査をさせていただいているところである。 ・御指摘を踏まえ、事業で得られたデータや成果等を整理・検証してまいりたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・業者が出した参考見積は、定価で出していると理解している。参考見積額と入札価格にかなり差があるが、その差分については、企業努力の

<ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査基準に抵触した一方、開札と契約が同じ日になっているが、開札と契約は同日に行うものと定めているのか。一旦持ち帰って精査する必要があると思料するが、いかがか。 <p>(予定価格の立て方について質疑応答が行われたが、予定価格を類推される恐れがあるため非公開とする)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考見積額と入札金額の差が大き過ぎる場合、見積の信頼性が下がってしまうため、見積と最終的な入札金額に差が出る原因について業者からヒアリングするなど、可能な範囲での要因分析や業界の競争状況等の把握をお願いしたい。 <p>③ 「学力向上のための基盤づくりに関する普及・促進」</p> <p style="text-align: center;">【随意契約（企画競争方式）】 （初等中等教育局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採択予定者が1者であり、より競争性の高い調達方法である総合評価落札方式の選択肢もあったのではないかと思うが、敢えて企画競争にした理由は何か。 ・当該事業は今回で終了とのことであるが、公募説明会に参加したが応募しなかった者へのアンケートに寄せられた意見の中にある「公募開始から応募書類提出までの時間が短かった」等、他の事業 	<p>部分が大きいものと考えているところである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は日本通運に問題なく履行できるかヒアリングしたことに加え、過去一度も契約不履行となった実績がなかったため、開札と同日に契約したが、履行可能性に疑義がある場合には、契約日を遅らせて精査するものと承知している。 <p>ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえ、参考見積額と入札金額の差が出ている要因等について分析・検証してまいりたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・仕様を明確に定めてそれに基づく総合評価落札方式で実施するという形より、デザインや様式など、仕様に関わる部分も含めて御提案をいただきたいという考えから、企画競争を実施することとしたところである。但し、今後同様の委託事業を検討する際には総合評価落札方式による調達の可否をしっかりと検討してまいりたい。 ・御指摘を踏まえ、公募開始から提出までの十分な期間の確保など、対応可能な点は他の事業を実施する際に、今回寄せられた意見を生かして改善したい。
---	---

に生かせるものは、対応をご検討いただきたい。

- ・当該事業は、昨年度までの調査研究で得られた成果を取りまとめるもので、業務内容的には多くの業者が参加できそうであるにも関わらず1者応募となっており、公募説明会に調査研究と誤認した業者の参加もあったようである。よって今後は、公募説明会を開催し、契約内容を十分周知した上で実施するなど、予算規模を増やさずに競争性を高める努力と工夫をお願いしたい。

④ 「大学教育改革の実態の把握及び分析等に関する調査研究」

【一般競争入札（総合評価落札方式）】 （高等教育局）

- ・これまで必須項目としていた類似の調査業務を実施した実績を今年度より加点項目としたとのことであるが、その他に業務履行期間を前年度までと比較して延長する等の工夫は行っているか。
- ・一者応札になった理由として、同時期に令和5年度先導的・大学改革推進委託事業の調査研究についての公告を8件行っていたことを挙げられているが、これらの事業は、同じ分野を得意とする業者を応札対象とした事業と考えてよいか。
- ・同じような事業を同じ時期にまとめて公告することはやむを得ないことと考えるが、その場合業務履行期間の確保も重要になってくるため、当該事業を毎年度実施しているのであれば、もう少し公告時期を早めるなどの工夫をお願いしたい。
- ・実績要件について必須項目から加点項目に変更し

- ・御助言を踏まえ、今後同様の事業を実施する際には、公募説明会を開催し、事業内容の理解促進を図るなど、競争性の確保に努めていくこととする。

- ・今年度は業務開始時期・終了時期ともに前倒ししており、業務履行期間の延長は行っていないため、来年度以降は業務の改善等で開始時期を早めることで、少しでも業務履行期間を長くするようにしたい。

- ・8件全てが同じ分野を得意とする業者の応札を見込んでいるわけではないが、年度によっては類似の調査研究テーマが同じ時期に公告されている場合がある。

- ・御指摘を踏まえ、公告時期を前倒しするなど、業務履行期間の長期化に努めてまいりたい。

- ・御指摘を踏まえ、実績要件以外にも参入障壁が

たことは参入障壁を取り除く1つの工夫だとは思いますが、他にも参入したい業者が参入できない障壁を発注側でつくっていないか、さらに検討していただき、1者応札が続いている状況の改善に努めていただきたい。

⑤ 「地域と科学の協働による海の総合知の創出：
地域モデルから日本モデルへ」

【随意契約（企画競争方式）】

（研究開発局）

- ・今年度新たに開始された事業でありながら、公募説明会を実施しなかった理由は何か。現に2者のうち1者が資料不備により不受理となっているが、不備は説明会を実施していれば防げたのではないか。
- ・件名や契約概要をみただけでは事業内容が一般の方には全く分からないと考えられる。公募要領を読んでも理解するのは難しいと考えられ「海洋分野の在野における研究成果も吸い上げて、研究者の研究と総合して知力を統合していくこと」を目的とするのであれば、そのことを説明会で説明すべきである。特に、毎年度事業の進捗を確認しながら、最大で5年間契約を締結する事業であるならば、初年度は必ず説明会を実施すべきであったと考えられる。
- ・e-Rad というシステムを使用して応募書類を提出することとなっているが、当システムは研究者であれば使い慣れているものの、企業や一般の方は慣れていないと思われるため、説明会等で使い方

ないか検討し、1者応札の改善と競争性の向上に努めてまいりたい。

- ・公募説明会の実施は推奨されているものの、必須ではないため実施しなかったところである。また、説明会を実施していれば資料不備を防げた可能性はあるものの、電話での質問には対応しており、問題はなかったと考えているところであるが、今後類似の事業を実施する際には、説明会を実施することとしたい。
- ・御指摘を踏まえ、今後類似の事業を実施する際には、説明会の実施の他、件名や契約概要を事業内容が理解しやすくなるよう工夫することとしたい。
- ・御指摘を踏まえ、今後 e-Rad を使用して書類を提出させる際には、研究者以外の方にも分かるよう、説明会等で周知することとしたい。

を周知するなど工夫していただきたい。

- ・ 2年目以降の契約を締結される際には、研究成果の検証と併せて、前年度までの研究成果をオープンソースにして、他の業者も可能であれば参加できるような形の契約手続を取ることをお勧めする。初年度は競争性の確保が不十分であったと考えられるため、改善をお願いしたい。

⑥ 「スポーツオープンイノベーション推進事業
(ネットワーキングカンファレンスの運営
等)」

【随意契約（企画競争方式）】
(スポーツ庁)

- ・ 今年度より1つの事業を2つに分割し、当該事業は引き続き1者応募、もう1方の事業は複数者応募になったとのことであるが、昨年度までの事業内容を単純に二分割したということによいか。
- ・ 契約相手方の採択から、実際に契約するまで4箇月程度要しているが、その理由如何。
- ・ 大事な協議をされていたと思料するが、一方で契約締結までに時間をかけすぎると委託期間が短くなり、事業の内容にも悪影響を及ぼす恐れがあるため、今後は速やかな締結をお願いしたい。また、今後もこの事業は二分割を継続する予定か。
- ・ 昨年度まで1つの事業だったものを2つに分割した理由は業務の専門性によって分けたのではなく、事業規模が大きかったのを小さくしたから、とのことであるが、来年度は地域版 SOIP 事業を

- ・ 御指摘を踏まえ、2年目以降の契約締結に際しては、研究成果をオープンソースにし、他の業者も参加できるような形の契約手続が取れないか検討することとしたい。

- ・ 単純に二分割したわけではなく、ネットワーキングカンファレンスの開催に関して、昨年度までの事業と比較して内容を充実させたところである。

- ・ 提出された実施計画書について、特にネットワーキングカンファレンスの開催回数など内容についての協議を行う必要が生じるなど、不測の時間を要したところである。

- ・ 御指摘を踏まえ、今後は速やかに契約締結ができるようにしたい。また、今年度1者応募となったことを踏まえ、来年度は地域版 SOIP 事業を加える形で公募を行いたいと考えている。

- ・ 業務内容に共通性のある分野を合わせる形で、地域版 SOIP 事業を追加することを検討しているため、競争性を阻害することにはならないものと考えている。

<p>加える予定、となると分割の方向性と逆行することにならないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を分割して規模を小さくすることで、1方の事業は複数者応募になったため、再度事業規模を大きくすることについては慎重に判断いただきたい。業務を追加される際にも、現行の業務と組み合わせて発注するのではなく、地域版の SOIP を単独で発注するなど、競争性を確保できるよう検討していただきたい。 <p>⑦ 「中学校学習指導要領実施状況調査における梱包物受け入れ・確認・採点・データ入力・PDF化・保管業務等 一式」</p> <p style="text-align: center;">【随意契約（不落・不調随意契約）】 (国立教育政策研究所)</p> <p>(予定価格の立て方等について質疑応答が行われたが、予定価格を類推される恐れがあるため非公開とする)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査票等の受入先を決定しなければならない日程の1箇月前に入札公告がなされており、少し遅かったのではないかと考えるが、事情如何。 ・今回入札説明会に参加したが、最終的に入札しなかった業者に対し、アンケートを回収するだけでなく、実際に話を聞くなどヒアリングをしっかりと行っていただきたい。今後も一般競争入札による契約を実施することになるため、競争性が確保できるよう、今回の結果を検証し、次回の契約に 	<ul style="list-style-type: none"> ・御指摘を踏まえ、業務を追加する際には競争性を損なうことがないように注意しながら、事業の分割や組み合わせについては慎重に検討してまいりたい。 <p style="text-align: center;">—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公告期間を20日以上設定した他、小学校学習指導要領実施状況調査と同様のスケジュールで実施したところである。なお、来年度に高等学校学習指導要領実施状況調査を予定しているため、その際はさらに公告期間を延長したり、作業時期を早め公告日を前倒しするなどといった改善方策を検討してまいりたい。 ・御指摘を踏まえ、今回入札説明会に参加したが応札しなかった業者に対するヒアリングを徹底し、今回の事案の事後検証を行うとともに、次回の契約に向けて競争性が確保できるよう検討してまいりたい。
---	---

向けて検討を進めていただきたい。

⑧ 「地域イノベーションシステムに関する調査」

【一般競争入札（総合評価落札方式）】

（科学技術・学術政策研究所）

- ・ 入札説明会等に参加したが応札しなかった業者に対するアンケートの協力を得られなかったとのことであるが、様式を送付して記入してもらう方法は相手方に負担をかけるため、口頭でヒアリングし記入はこちらで行うなど、情報を得るための工夫はされているか。
 - ・ アンケート様式に答えてもらうことが目的ではなく、なぜ競争性が確保できないのかという原因を分析するための情報を獲得することが目的であるため、1者応札から脱却し、競争性が確保できるよう、アンケート・ヒアリングなどの手法をいろいろと工夫していただきたい。
- ・ 現状、口頭でヒアリングしこちらで様式に記入するなどの工夫は行っていないため、今後は、御教示いただいた内容を踏まえ、入札説明会参加者の方等から回答が得られやすくなるような工夫をすることとしたい。
 - ・ 御指摘を踏まえ、競争性が確保できるよう、アンケート・ヒアリングなどの手法を工夫して実施してまいりたい。